

用字用語統一規定

[illegible]

○	×	○	×	○	×	○	×	○	×
互いに たかか知れる 高をくくる たくさん 巧みに だし 多少 確かに たそがれ ただ たたえる 叩く ただし 但し書き ただちに ○○たち(私たち) たちどころに たちまち 建前 たとい たとえ(副) たとえば 例える ※例えて言えば 例え話 たび ※このたび、ひとたび たびたび 多分 食べ物 ※食物は「しょくもつ」 たまたま たまる(ブランク) ため 駄目 だれ 垂れる 炭疽 だんだん(副) 断トツ 単に	たがい 高か知れる たかをくくる 沢山 たくみに 出汁 たしょう たしかに 黄昏 唯、只 称える、讃える たたく 但し ただし書き 直ちに ○○達 立ち所に 忽ち 建て前、たてまえ 例い 例え 例えば たとえる ※例えて言えば 例え話 度 ※このたび、ひとたび たびたび 度々 たぶん 食物 ※食物は「しょくもつ」 偶々 溜まる 為 だめ 誰 滴れる、たれる 炭そ 段々 ダントツ たんに	的確(的中) できる 手はず と 問合せ先 ※新製品、インフォメーション欄 当然 とうてい とうとう ～(の)とおり ※図に示すとおり ○通り ※3通りの方法 と(に)かく ～(する)とき 時折 ときたま ときどき(副) 時々(名詞) ※時々話題 その時々で変化する ときに 途切れる 特殊学級→養護学級 特に どこ とこしえ ところ(抽象) ※～したところ、そういうところ 所(場所) ※遠い所、所変われば ところが ところで ところどころ 閉じる、綴じる 途絶える 途端 とっさ 突然 整(調)える とどめる とはいえ ※とはいものの 止めどなく ○○ども ※私ども、野郎ども ともども 伴う ともに 捉える ※意味を捉える、～と捉える 捕らえる 取り～(接頭) ※取り(まとめ、やる、決める) とりあえず とりえ とりわけ 取(採、撰、捕)る ※歳を取る、睡眠を取る、食事を摂る	適確(適中) 出来る 手筈 ぬ 問い合わせ先 ※新製品、インフォメーション欄 とうぜん 到底 到頭 ～(の)通り ○とおり 兎(に)角 ～(する)時 ときおり ときたま 時々 ときどき ※時々話題 その時々で変化する 時に ときれる とくに 何処 常(長)しえ、永久 所、処 ※～したところ、そういうところ 所(場所) ※遠い所、所変われば ところが 所で 所々 閉じる、綴じる とじる とだえる とたん 咄嗟 とつぜん ととの(斉)える 止める(留) とは言え ※とはいものの とめどなく ○○共 ※私ども、野郎ども 共々 ともなう 共に とらえる ～と捉える とらえる とり～ ※取り(まとめ、やる、決める) 取りあえず 取り柄 取り分け とる ※歳を取る、睡眠を取る、食事を摂る	賑やか(わう) ～(し)にくい 二、三の 覗む にわか ぬ ぬきんでる ぬれぎぬ ね ねんごろ 年令 の 脳振盪 のける 後 ※抜歯の後、その後 のち(副) 後 後ほど のちほど、後程 則る のつとる のべ は 徘徊 徘徊 はい菌 微菌 ※可能な「微生物」「細菌」等に 排泄 排せつ 生え替わる(菌が) 生え変わる はがき 葉書、ハガキ はかどる 捗る 図らずも はからずも 計る、量る、測る はかる 図る、語る、謀る はかる 育む はぐくむ 漠然 ばくぜん 莫大 ばくだい 剥離(剥は旧字) はくり 歯応え 歯ごたえ はさみ 鋏、ハサミ 挟む はさむ はし 箸 初め はじめ ※中見出し「はじめ」は仮名 (を)はじめ (を)初め ※院長をはじめ(として) 初めて(副) はじめて (～して)初めて (～して)はじめて 始める はじめる ※～を始める、～し始める はず 筈 外れる はずれる ※町外れ、踏み外す 裸足 はだし はたして 果たして 発酵 醗酵 派手 はで 曇(副、形容) はなはだ はばかり 憚る 歯ブラシ ハブラシ はみがき はめ はやばやと	ひとまず 一人、独り ※1, 2, 3 と入替え可能な場合は漢字 ひとりでに 独り善がり ひとりがり 一渡り 非難 批難 百姓・農夫(禁)→農家の人・農民 糜爛 びらん 翻って 広がる 蟬噓 ひんしゆく ふ ～風 ～ふう ※洋風、学者風 ～(の)ふうに ～(の)風に ※こういうふう、知らないふうに 孵化 ふ化 俯瞰 ふかん 賦形 付形 無様、無精、無粋 不様、不精、不粋 ふさわしい 相応しい 不十分 不充分 再び ふたたび 普段 ふだん ※「～の努力」は不断 普通 ふつう 踏まえる(て) ふまえる(て) 腐爛 腐乱 ～(の)ふり ～(の)振り ※知らぬ～、他人の～、思わせぶり ○振り(素、身、手) ○ぶり ～ぶり ～振り ※久しぶり、○年ぶり 奮って ふるって 振る舞い ふるまい 浮浪者(禁)→ホームレス、路上生活者 へ ページ 頁 下手 へた 別して べっして、べして 別段 べつだん 別に べつに 別々 べつべつ 辺 へん ※この辺のことは 扁平 偏平 ほ ～(の)ほう ～(の方) ※北のほう、～のほうがよい 茫然 杲然、ぼうぜん 膨大 龐大、ぼうだい 類(旧字) 類(新字) ※類舌、類側、類粘膜、すべて旧字 ほか 他、外 ※「た」と読ませる場合漢字 ポケット(歯周)→歯周ポケット ほご 反故 ～(して)ほしい ～(して)欲しい ※補助形容詞的用法(買ってほしい) ～(が)欲しい ほしい ※食べ物か欲しい、物欲しい ～ほど ～程 ※先ほど、多いほど、すればするほど ほど 程 ※身のほど、ほど良い、ほどなく ほどほどに 程々に ほとんど 殆ど 哺乳 ほ乳 ほぼ 略、粗 本当 ほんとう ま μm マイクロメートル ※ミクロンは使用せず (する)間際 まさしく まさに 勝る まして 真面目 まず ますます また まだ ～(を)またない ※論を～、～の言をまつまでもない または 又は 間違う まちがう 真っ先に まっさきに 真っすぐ 真(ま)っ直ぐ 全く まったく 全くだ(な) まう(な) 全うする まとうする ～まで ～迄	まとめる 真似 麻痺 まま 摩耗 まもなく 丸ごと 丸々 まれ 万(か)ー 真ん中(前) み ～み(接尾) ～味 ※弱み、厚み(新鮮味のみ例外) み～(接頭) 御～ ※み霊、み代 見いだす 見出す みぎり 砌 見事 みごと みずから 自ら みずみずしい 瑞々(水々)しい みだりに 妄(濫)りに 道 路、途、径 見つける 見付ける 見どころ 見所 みなす 見做す、見なす 見栄え 見比べ、見映え 見よう見まね 見様見真似 (物事が)みられる 見られる ※実際に見る場合は漢字 見る、観る、診る みる ～(して)みる ～(して)見る む むしろ 寧ろ 難しい むずかしい 無駄 むだ むなし 空(虚)しい 旨 むね むやみ 無闇、無暗 無理(やり) むり(やり) 無論 むろん め ～め(長め) ～目(二人目) 銘々 めいめい メンテナンス メンテナンス m メントル ※SI 接続辞(μ, m, c, k 等)をつける 眼鏡 めがね (を)めぐる(問題) 巡る ※回る、囲む意は漢字 目指す めざす 目覚ましい めざましい 召し上がる めしあがる めちゃくちゃ 滅茶苦茶 めったに 滅多に めど 別途、目処 めまい 眩暈、目眩 めりはり 減り張り 面倒 めんどう も 申し上げる もうしあげる 申し訳 もうしわけ 申す もうす 毛頭 もうとう もくろみ もうろう もし 目論見 もし 若し もしくは 若しくは もちろん 勿論 持つ(具体) もつ もつ(抽象) 持つ ※複合語例外(併せ持つ、受け持つ) もったいない 勿体ない もって 以て 最も もっとも もっても 尤も もっぱら 専ら 下、元、本、基、許 もと もとづく 基づく もとづ 基とよ 元々、本々 もとより 固より、素より もの 者、物 ※具体的な人、物体を表する場合漢字 もはや 最早 もらう 貰う 漏れる 洩れる、もれる もろもろ 諸々 や やかましい 喧しい 矢先 やさき 易しい、優しい やさしい ～(し)やすい ～(し)易い	厄介 やはり やまやま 山々 やむをえない 已むを得ない やや 稍々 ややもすれば 動もすれば やる 遣る ※やり方、読んでやる 和らぐ やわらぐ 軟かい(歯科材料) 柔らかい ゆ 憂うつ 憂鬱 優に ゆうに 悠々 ゆうゆう 故(名詞) ゆえ ※故あって、故なく、何故 ～ゆえ 故 ゆえに 故に ゆるん 所以 歪む ゆがむ ゆく(いく) 行く ～(して)ゆく ～(して)行く ゆくゆく 行く行く 委ねる ゆだねる ゆるり 緩り よ 良い、善い よい ※頭が良い、操作性が良い ～よい ～良い ※～してよい、～のほうがよい ～(の)ように ～(の)様に ようやく 漸く 余計 よけい 由 よし 良(善)し悪し よしあし よって 因って 呼ぶ よぶ ※～と呼ばれる よほど 余程 よりどころ 拠り所 寄る辺 寄るべ よろしく 宜しく ら らい病(禁)→Oハンセン病 ○○ら(われら) ○○等 り 罹患 りかん リットル 立派 りっぱ ろ 蠟(旧字) 蠟(新字) ※虫偏に鑑の右の部(蠟義齒) ろうあ 嚥唾 癆孔 ろう孔 ※フィステルとも(胃瘻、痔瘻) 濾過 ろ過 わ わが 我が わかる 分か(判、解)る 分かれる、別れる わかる わきまえる 弁える ～わけ(…ない) ～訳(…ない) ※わけにはいかない、わけではない 技業 わざ わざと 態と わずか 僅か 煩う、患う わずらう 私 わた(く)し ～わたる ～亘る、互る ※広範囲にわたり、3カ月にわたって 渡る(動詞) わたる ※海を渡る、風が渡る 割合に わりにあいにく 割に わりに われ(われ) 我(々) 彎曲 湾曲、弯曲		